（別紙5）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	KID ACADENY DANCE上西校

公表日　2026年　3月　6日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	ダンス活動を行うにあたり、十分な活動スペースを確保するため、ソファーなどの家具を処分・配置換えし、模様替えを行っている。また、床に線を引いて一人ひとりの立ち位置を明確にするなどの工夫をしている。 限られたスペースを有効に活用するため、余分な物は極力置かず、家具の配置を見直すことで子どもたちの活動スペースが広がるよう改善している。	利用者が多い日には、やや狭さを感じることがあり、職員が支援のために利用者の横につくことが難しい場面も見られるため、今後もより良い環境となるよう工夫や改善を検討していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	法律に基づいた配置人数で運営している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	来所後の身支度や持ち物チェック、手洗いまでの流れがスムーズに行えるよう、導線を意識した環境づくりを行っている。	建物の構造上、現状バリアフリー化が難しく、キッチン前やトイレ前に段差があります。特にキッチン前は転倒の危険があるため、張り紙による注意喚起や職員の声掛けを行い、安全確保に努めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	活動内容に応じて机やいすを出し入れし、柔軟に環境を整えている。また、毎日活動終了後に清掃を行い、清潔な環境の維持に努めている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	4	個別に話をする際は、監視カメラのある車内や、カメラが映る範囲でパーテーションを使用し、一時的に個別空間を確保している。	今後は、安心して個別に過ごせるスペースの確保や、倉庫内の整理を進め、環境の改善を図っていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	月1回の事業所会議で職員一人ひとりが意見を出し、前月からの改善点や達成状況の振り返りを行っている。また、毎日申し送りを実施し、毎朝の朝礼でも振り返りを行うことで、情報共有と支援の質の向上に努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		保護者向け評価表で得た気づきは反映していますが、活動内容が十分に伝わっていない可能性もあるため、今後はより分かりやすく発信していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	朝礼や事業所会議の場を活用し、職員間で情報や意見を共有しながら、業務改善に取り組んでいる。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	年間計画に基づき、毎月研修を実施している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	6	0		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	主担当が活動プログラムを共有し、他職員が助言や改善案を出し合いながら、プログラムを立案している。内容については朝礼等で共有している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	職員がインターネットや図書館、地域の催し等を活用して内容の重複を避けながら、子どもたちの意見も取り入れ、5領域を意識した多様なプログラムを各職員で立案・実施しており、担当を曜日ごとに固定しないことで、毎週実施しているダンスを除き、児童がさまざまなレクリエーション活動を体験できるようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎日の朝礼で意見交換を行い、必要に応じて道具を手作りするなど、職員がチームとしてより良い活動となるよう工夫している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	4	2	当日は職員間で反省点や良かった点を会話の中で共有しつつ、送迎等で時間が限られるため原則として翌日の朝礼で前日の様子や気づきを職員全体で詳しく共有しており、緊急性や重要性の高い内容についてはその場で速やかに共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	HUGを活用し、当日の支援記録を確実に行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	気持ちが落ち着かない時は職員に声をかけて見学できるようにし、1日の振り返りでは子ども自身が自分の行動や選択を評価し、おやつの有無や内容についても自己決定を行った上で職員と相談して決めるようにしている。	
関係	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児発管が毎回参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	担任の先生が下校時に出てきてくれる場合、学校と事業所の状況をお互いに情報共有する機会がある。	今後も、状況などに応じて学校との情報共有を図っていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	こども園から送られてきた資料や、社内の児童発達支援事業所の情報を職員間で共有しており、今年は系列の児童発達からの新規児童が多かったことから、職員間で状況をできるだけ丁寧に伝えるようにしている。	

係機関や保護者との連携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	相談支援事業所と児童の現在の状況を共有し、卒業後の受け入れ先に情報を提供してもらっている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	3	3		現在は、助言を受ける機会などがないが、今後は必要に応じて検討をしていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	夏祭りなど地域参加型のイベントを実施するとともに、日常の外出や買い物の際にも地域住民との交流の機会を持っている。	今後は、児童館などとの交流もニーズなどに応じて検討していきます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4	協議会全体会には会社の中で必ず 1名は参加するようにしている。	今後も、積極的に参加ができるように業務工夫をしながら参加をしていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	保護者と連絡帳や送迎時に必要な情報交換や相談を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント･トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2		現在は、ペアレントトレーニングなどは実施できていませんが、今後はニーズなどに応じて検討していきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	4	保護者会としては実施していないが、利用家族も参加できる夏祭りなどのイベントを企画･実施した。	今後も、保護者の方やごきょうだいの方にもご参加いただけるような機会を検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	通信を毎月作成し、定期的に配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	鍵付き書庫で保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	毎年開催している夏祭りでは、地域の方にも参加していただけるようチラシを配布している。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	自由に閲覧できるように冊子にし用意している。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1		ヒヤリハットがあった際は、職員間で原因を共有し、再発防止に努めています。今後も同様に対応していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0		